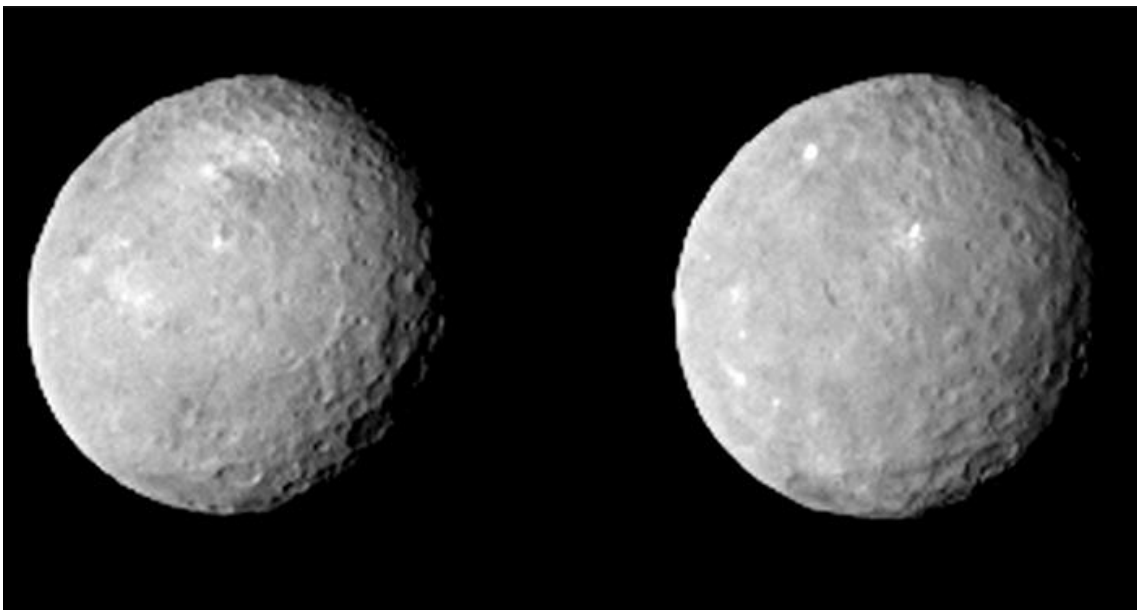


惑星探査（続報）：準惑星ケレスの素顔

2007年に打ち上げられ、小惑星ベスタを探査した探査機ドーンがいよいよ準惑星ケレスに接近する。NASAは、2015年2月12日に撮影された最新画像を公開した。この画像はケレスから8万3千キロの距離から撮影されたものであり、表面に多数のクレーターがあることがはっきりした。また、白いスポットは、新しいクレーターに対応しているようにみえる。表面は起伏のあるクレーターで覆われており、月面のアルタイの断崖のような地形もみられる。クレーターの数分布からすると、表面はきわめて古く太陽系が形成された46億年前からの姿をとどめているようにみえる。ドーンはいよいよ3月6日にケレスを周回する軌道に入る。反射スペクトル画像の解析から、表面物質がなんであるかの解明が進むことが期待される。



画像＝NASA/JPL-Caltech/UCLA/DLR/IDA(2月12日撮影)

画像解像度は7.8km.